

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	64	学校名	県立袋井商業高等学校	校長名	花崎 昌史
------	----	-----	------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

地域社会・地域経済を支える有為な人材を輩出してきた県下有数の伝統を誇る商業専門高校として、実践を伴う主体的な学びとビジネスマナーを育む教育活動を通して、心身ともに健全でたくましく、「知・徳・体」のバランスが取れた人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ●個々の資質・能力の伸長を図り、前向きかつ主体的に社会を生きる力を育成します。 ●ビジネスに関する実用的で幅広い知識・技能を身に付け、多角的な視野と柔軟な対応力をもって、課題設定・解決する力を育成します。 ●ビジネスマナーやコミュニケーションスキルを身に付け、品格と教養を兼ね備え、自ら地域経済社会を支えようとする気概を育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門教科と普通教科をバランスよく配置し、ICTの活用や実用的かつ探究的な学びを推進することで、専門知識・技能、教養、基礎学力を習得させます。 ●「袋商ショップ」等の体験的・実践的な教育活動を中心に据え、必要なビジネス知識・技能を習得させるとともに、主体的・発展的に学びに向かわせる「学びのサイクル」を推進します。 ●ビジネスマナーやコミュニケーションスキルの獲得を目指した教育活動を推進するとともに、特別活動、部活動、地域社会との連携の場等で人間性を高めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習、学校行事、部活動など、校内外の教育活動に積極的に取り組み、自己を高めようとする生徒を求めます。 ●他者への思いやり、寛容の心を持ち、他者との関係性を大切にすする生徒を求めます。 ●本校の校訓「責任・秩序・礼儀」を理解し、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けている生徒を求めます。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 【商業教育の活性化】 袋商ショップを中核とした商業教育の充実、おもてなしの心研修の導入
- イ 【学びを楽しむ心の涵養】 基礎学力の定着と探究的な学びの両立、ICT活用、観点別評価と指導改善の両立、読書の推進
- ウ 【社会人基礎力の獲得】 基本的な生活習慣、ビジネスマナー、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力の育成
- エ 【多様な生徒への対応】 進路指導の個別最適化、教育相談体制と通級指導の充実
- オ 【地域との連携・協働】 地域の課題解決や魅力発信に関わり、信頼される学校づくりの推進
- カ 【自己有用感の育成】 部活動や学校行事への主体的参加姿勢の育成、ボランティア活動の活性化
- キ 【今日的な課題への対応】 実学推進フロンティア事業の活用、働き方改革推進、安全な環境の整備
- ク 【学級減への対応】 部活動・学校行事の精選、分掌の再編、教育課程の見直し

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	商業の学びと実践との融合、「学びのサイクル」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科目の授業での学んだことを袋商ショップで実践する。 ・袋商ショップでの実践を経ることによって生徒の商業に対する興味関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだことが袋商ショップで役に立ったと感じる生徒 85%以上 ・袋商ショップを経験することにより学びたい気持ちが高まった生徒 75%以上 	商業科
	袋商ショップの充実	学級減と時流に適応した袋商ショップへの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・R7 袋商ショップの開催形態、会場、日の検討と決定 ・キャッシュレス決済の本格導入 	ショップ課 商業科
	接客技術、ビジネスマナー教育の充実	1年生に「おもてなしの心研修」を導入する。 2年生には修学旅行に同内容の研修を含める	<ul style="list-style-type: none"> ・接客技術やビジネスマナーの習得に役立ったと感じる生徒 90%以上 ・進路意識の向上につながったと考える生徒 70%以上 	商業科 1年部 2年部
	商業検定合格者・資格取得者の増加（中上位層の学力伸長）	<ul style="list-style-type: none"> ・検定受験の推奨 ・授業、課外授業、部活動による検定対策の充実 	(1年)簿記検定3級、情報処理検定3級合格率90%以上 (2年)簿記検定2級合格率55%以上 (3年)卒業までに検定1級を取得する生徒30%以上	商業科 商業系部 活動
イ	生徒の能力を引き出す授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のUD化推進 ・探究的な学びに向けた授業改善 ・1人1台端末（BYOD）の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書や教材等、授業のUD化を実践する教員90%以上 ・教育活動でクロムブックを活用している教員90%以上。 ・授業で対話型・探究型活動を取り入れている教員90%以上 ・授業に満足している生徒80%以上 	教務課 全教員
	基礎学力の定着	・学びの基礎診断に基づく学力の把握と学び直しの実践	・年間を通して基礎力診断結果に向上が見られる	教務課 各学年
	観点別評価の実践と評価	・研修や教科会による評価方法、指導方法の改善と工夫	・評価方法・指導方法について検討した教員100%	教務課 全教員
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書の継続 ・図書室の整備、読書の勧め 	・年間で4冊以上の読書をした生徒75%以上	図書広報課
ウ	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の出欠統計の見える化による欠席数等の削減 ・規則正しい生活習慣の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席年間6回以上の生徒10%以下 ・朝食摂取率90%以上 	教務課 保健課
	ビジネスマナー（BM）指導の徹底と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・袋商ショップ社員としての身だしなみ、礼儀、マナー指導 ・校則、指導基準の継続的な見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識・ビジネスマナーの育成を意識した指導を行っている教員100% ・校則、指導基準の見直しを昨年度に引き続き実施 	生徒課 全教員
	創造力と協働力の育成	・課題解決型活動の活性化	・春風プロジェクトを受講した生徒の満足度80%以上	商業科 生徒課

様式第1号

エ	希望する進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた進路指導の充実 ・学年と進路課との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時に進路決定している生徒 100% ・進路指導が適切にされていると考える生徒 80%以上 	進路課
	多様な生徒の支援及び特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング機会の充実 ・ケース会議の積極的活用と外部機関、専門家との連携 ・通級指導の本格実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・3分間カウンセリング実施率 95%以上 ・SC 相談利用促進を推進し相談件数年間 20 件以上 ・ケース会議の積極的な開催 ・通級指導の定期的実施 	保健課 生徒課 特支教 C0
オ	地域連携・貢献・協働の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動等による地域貢献 ・地域防災の担い手としての自覚の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 部活動 1 ボランティアの実践 100% ・地域防災訓練に参加した生徒 90%以上 	生徒課 総務課
	地域に根ざし開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の更なる強化 ・保護者・外部人材による教育活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNS による情報発信 ・広報ポスターに加えてチラシ作成年間 5 回以上 ・専門高校合同説明会開催 ・学校行事等の運営に参加した保護者のべ 40 人以上 	図書広報課 総務課
カ	部活動と学校行事の一層の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動での目標を持って主体的に活動に取り組む生徒の育成 ・生徒主体で達成感のある行事運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に積極的に参加している生徒 80%以上 ・学校行事に積極的に参加している生徒 80%以上 	生徒課 各学年
キ	安全と環境に配慮した教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・不良個所の早期改善、計画的な修繕・改修 ・SDG s の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な校内点検と迅速な対応 ・電気・ガス・水道使用量 5%削減、ごみ処分量 5%削減 	保健課 事務部
	人権教育の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート実施、いじめ早期発見・早期対応体制の点検 ・人権教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期のいじめアンケートでいじめの可能性のある回答への聞き取り実施 100% ・いじめが疑われる事案を認知後、対応の遅れ 0 件 	生徒課 いじめ防止 対策委員会
	働き方改革に対する組織的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導における外部人材の活用 ・やめる・へらす・かえるの実践 ・職員安全衛生委員会の活性化、ストレスチェック事業を更に活用 ・時間外在校時間の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材活用により教員に負担軽減の実感がある ・やめる、へらす、かえるを活用した業務改善 5 件以上 ・職員安全衛生委員会やストレスチェック事業を活用した職場環境等の改善 ・時間外在校時間の 5%縮減 	全職員
ク	学級減への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、学校行事の精選 ・分掌、委員会の再編 ・教育課程の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部 1～2 部、文化部 1～2 部の廃止、統合 ・分掌、委員会の縮減、再編 ・開講科目の検討と設置 	教務課 全職員

ゴシック体は令和 6 年度重点項目